

2025 年 5 月 19 日

Press Release

報道関係・教育担当記者 各位

アジア学科開設 25 周年記念講演会&コンサート
「ユネスコ無形文化遺産・南音と古琴の世界を訪ねる」
のお知らせ

平素は、本学の広報活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さてこのたび、外国語学部アジア学科主催、人類学研究所共催で、下記のとおり、「世界無形文化遺産 南音と古琴の世界を訪ねる-中和の美を求めて 講演会&コンサート」を開催することとなりました。つきましては、取材、報道等におきましてお取り扱いいただき、広く一般にご周知いただければ幸いです。

なお、恐れ入りますが、取材にお越しいただける場合は、事前に外国語学部アジア学科合同研究室までご連絡をお願いいたします。

記

実施日時： 2025 年 6 月 14 日(土)15:00～16:30 (14:30 開場)

場 所： 南山大学 R 棟 1 階 フラッテンホール

プログラム：15:00 開会挨拶 (稲垣和也南山大学教授)

15:05 講演・演奏 (通訳あり)

蔡雅芸

陳思来

王維

16:15 質疑応答

16:30 終演

司 会 張玉玲 (南山大学教授)

演奏曲 広陵散 (古琴)

陽関三叠 (古琴と簫)

梅花操 (南音)

望明月 (南音)

醉落花 (打楽器と琵琶)

※翌 6 月 15 日 (日) 10:30～12:00 R 棟 65 教室にて「古琴に触れてみよう」ワークショップも開催

申込方法： いずれも一般公開、参加無料、申し込み不要

以上

ユネスコ無形文化遺産

南音と古琴の世界を訪ねる

講演会 & 演奏会

中和の美を
求めて

演奏曲目

広陵散(古琴)
陽関三疊(古琴と簫)
梅花操(南音)
望明月(南音)
醉落花(打楽器と琵琶)

儒家思想では、「中和」を「美」としており、喜怒哀楽などの感情を現す際にも、一定の節度、すなわち「中和」の境地を保つことが重んじられてきた。「楽は即ち天地の調和である」。この「中和の美」は、南音や古琴に代表される中国の伝統音楽の技法においても見事に表現されている。天と地の間にいる「人間」は、この和をもつて変化する万物に対応する者なのである。世界各地で自然災害が増え、戦火もいまだに消えない今、古琴と南音を通じて今一度「和」について吟味してみませんか。

2025年6月14日(土)
15:00開演(14:30開場)
南山大学R棟1階
フラッテンホール

(名古屋市昭和区山里町18) 地下鉄名城線「八事日赤」駅より徒歩10分

南山大学外国語学部アジア学科合同研究室

電話:052-832-3111(代表)/(内線)3551

メール:dpt-ajia@nanzan-u.ac.jp

南山大学人類学研究所

ホームページ:<https://rci.nanzan-u.ac.jp/jinruiken/>

主催:南山大学外国語学部アジア学科 共催:南山大学人類学研究所

入場
無料

申し込み
不要

プログラム

15:00 開会挨拶
稲垣和也(南山大学教授)
15:05 講演・演奏
16:15 質疑応答
16:30 終演
司会:張玉玲(南山大学教授)

出演者プロフィール

蔡雅芸 CAI Yayi

南音伝承者、長崎大学大学院多文化社会学研究科博士後期課程在学中、上海音楽学院無形文化遺産伝承センター特任教授

陳思来 CHEN Silai

南音・古琴奏者、上海音楽学院無形文化遺産伝承センター特任教授

王維 WANG Wei(日本語通訳も務める)

長崎大学多文化社会学部教授、同大学院多文化社会学研究科長、華僑華人及び南音研究

6月15日(日) 10:30 ~ 12:00「古琴に触れてみよう」
ワークショップ(南山大学R棟65教室)にもご参加ください。